

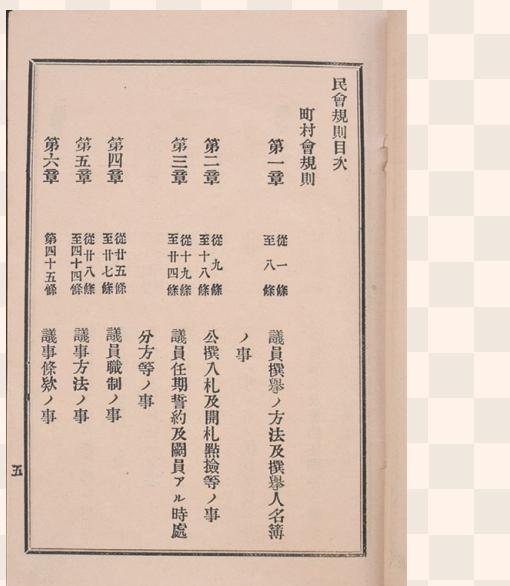
れきみんコラム

町村合併あれこれ 町村制と地方自治

明治5(1872)年、全国に、旧来の村や町を廃し、人口などで区切った大区・小区制度が敷かれました。例えば磐前県第四大区小6区は、中郷地区の大部分、小5区は阿武隈川流域の村、小7区は守山周辺で、この3つを同じ区長が受け持つという、住民には非常に不便なものでした。

なぜこのようにしたのかというと、明治政府は強力な中央集権国家をめざしており、まずは戸籍に基づく効率の良い徴兵・徴税が必要だったからです。その後市町村制が復活しても、国から派遣される県令や郡長などが大きな権限を持ち、地域の長には、指示通りに戸籍編成や徴税を行う程度の裁量しか与えられませんでした。

明治11年に郡区町村編制法・府県会規則等が施行されると、ようやく町村制が復活し、「府県会規則」により県会(県議会)を開くこともできるようになりましたが、



「福島県民会規則」目次

「福島県民会規則」は、これに先駆けて明治10年に完成していました。当時福島県の小書記官だった中條政恒が中心となり、河野広中らが関与して作ったこの規則は、全国的に見ても画期的なものでした。県会だけではなく、町村会や郡会等の各民会の議員の選出方法、議決の仕方などを規定、選挙権者は納税額ではなく、動産・不動産の所持により決まるため、より多くの人が選挙資格を得ます。地域のルールを地元の人々で作る、というこのやり方は、地方自治への自覚もと言えます。

福島県民会規則は、自由民権思想との融合策をとることを冒頭に提言していますが、県令・三島通庸は、薩摩藩出身の田中章を田村郡長に据え、郡内の自由民権運動を抑え込もうとします。この後の福島事件で、地方自治の始まりも途切れてしまったと言えるのです。

ふくしまふるさと CM 大賞 ベストパフォーマンス賞受賞

第24回ふくしまふるさとCM大賞において、三春町の作品「三春駒ステーキ」がベストパフォーマンス賞を受賞しました。

受賞した作品は、福島放送で4月から30回(1年間)放映されます。ぜひ、ご覧ください。また、CM大賞HPおよび町公式Instagramでもご覧いただけます。



一般社団法人 はるの花

2026年分草刈り・草むしり受付開始!

【最近多いご依頼】

柿の木を切って欲しい

落ち葉掃除をして欲しい

物置の片づけをしたい

早めの予約で計画的な作業が可能です!

受付時間 8時30分～17時

休業日 日曜・祝祭日・年末年始他

〒963-7731 三春町下舞木字虫内3-10-102

☎ 024-953-5426



医療法人 西山会 内科 消化器内科 訪問診療 なごみファミリークリニック

年末年始休暇のお知らせ

	12月30日 (火)	12月31日 (水)	1月1日 (木)	1月2日 (金)	1月3日 (土)	1月4日 (日)	1月5日 (月)
午前	通常通り	休診	休診	休診	休診	休診	通常通り
午後	通常通り						通常通り

●年末 12月30日 (火) まで通常診療

●新年 1月 5日 (月) から通常診療

〒963-7704 三春町大字熊耳字上荒井199-1(田村警察署となり) ☎ 0247-62-2473